



甲浦小学校 学校だより
NO. 9
令和3年11月22日

夢や目標に向かってねばり強く努力する子どもを育てます



実りの秋

いこいの庭や校庭に赤や黄色の落ち葉が舞い、吹く風にも冬の訪れが感じられる頃となりました。早いもので、2学期もあと1か月となりました。学校では、学習や生活のまとめの時期となります。子どもたちが落ち着いて生活できるよう全職員で子どもたちを指導し見守っていきます。

規則正しい生活リズムなど、保護者の皆様、地域の皆様のご協力のおかげで子どもたちは元気に登校できています。子どもたちが寒さに負けず元気に過ごすことができますよう、保護者の皆様、地域の皆様には、今まで同様、ご理解とご協力よろしくお願ひします。

なお、第6波に備えて、感染拡大防止に努めながら、学習をすすめます。今しばらく、本人や家族の風邪症状での欠席対応、毎日の健康観察は続きます。ご協力をよろしくお願ひします。

1・2年生生活科見学 17日(水)

1・2年生は、人と科学の未来館サイピアに行きました。プラネタリウムを体験したり、サイエンスショーで科学実験を見たりしました。太陽の丘公園では、色づき始めた木々の中、お弁当を食べたり、遊具で仲良く遊んだりしました。

5年生社会科見学 19日(金)

5年生は、西日本製鉄所とさん太しんぶん館を見学しました。製鉄所では、工場の仕組みや働く人々の様子を知り、世界に誇れる日本の工業のすばらしさを感じていました。見学したことをもとに、工場の仕組みや働く人の様子を教科書にある自動車工場と比較しながら学習します。さん太しんぶん館で見学した情報伝達の工夫や苦勞について、教室で、学習を深めていきます。

読書のすすめ



10月26日～29日は甲浦小学校の読書週間でした。図書委員会が主催して、しおりコンテストや読書の花、クイズラリーをしました。読書の花は、花びらにおすすめの本を書いて紹介する取組です。たくさんのおすすめの本が紹介されて満開の桜の木になりました。

15日(月)からは、中学校区で家族読書週間も行われました。生活調査によると、甲浦の子どもたちの90%以上が「読書が好き」と答えています。しかし、読書に費やす時間は半数の児童が10分以下となっています。読書は心を育てるといわれます。語彙力、思考力、表現力も身につきます。この機会に、ぜひ親子で本に親しんでみてはいかがでしょうか。



グリーンアップ光南台



保護者、地域の皆様にはお手伝いいただき、大変ありがとうございました。皆様の力で校内だけでなく学区の中がとてもきれいになりました。中学生とともに活動し、校区一体となつてごみのないきれいな学区にしようという意識も高まっているように思います。これからも大切に取り組んでいきたいと思っています。



運動会 13日(土)



穏やかな天候の中、運動会を開催しました。5月、開会を直前に緊急事態宣言の発出となり、準備を進めていた6年生には、残念な思いをさせました。しかし、気持ちを新たに6年生が、中心となりスローガン「心を一つに何事にも挑戦し笑顔で終われる最高の運動会」を決定し、開催することができました。スローガンをもとに各学年でめあてを決めて取り組みました。プログラムにも学年目標に関わる種目名が並ぶなど全校児童の心がひとつになりました。コロナ禍で、表現や組体操のプログラムはありませんでしたが、練習を繰り返したバトンパス、ゴールに向かって懸命に走る姿、失敗しても、あきらめずに走り切る姿、協力して取り組む姿など「目標に向かってねばり強く努力する姿」をたくさん見ていただけたことと思います。さらに、5・6年生は係の仕事も果たし、演技の達成感だけでなく、責任感や有用感を感じることができたと思います。



避難訓練 5日(金)

「地震後津波発生」を想定した避難訓練を行いました。地震発生とともに教室で、机の下に避難し、地震が収まると運動場へ避難しました。その後、津波発生の連絡を受け校舎3階へ移動しました。静かに整然と移動できました。海岸に近い学区です。日頃からどのように避難するか、ご家庭でもぜひ話題にいただけたらと思います。



岡山市総合調査への

ご協力ありがとうございました。

アンケートへのご協力ありがとうございました。手違いで、ご記入いただいた回答用紙を回収できていない方がいるようです。大変失礼いたしました。お手元にごございましたら、いつでもご提出ください。来年度の教育活動の参考にさせていただきたいと思ひます。



甲浦小学校は、今年創立148周年を迎えました。

11月18日の開校記念日にあわせて、全校朝会で学校の簡単な沿革を話しました。明治6年4つの村に学校ができてから148年、多くの方がこの小学校を卒業されました。校内外には、卒業された皆様の作品も多く残されています。子どもたちに紹介しながら、みんなも「なかよくする子 考える子 たくましい子」としてすばらしい姿を引き継いでいこうと話しました。

今後も地域の宝である甲浦の子どもを皆様と連携して育てたいと考えています。これまでと同様、温かい目で子どもたちを見守っていただきますよう、よろしくお願ひします。